

## 令和8年度 創造的イルミネーション事業 事業概要

### 1 事業目的

横浜ならではの港の景観を生かして、都心臨海部の街を光と音楽で一体的に演出します。国内外から選ばれる夜のコンテンツを創出することで、観光客を誘客し、回遊性向上や滞在時間の延長を図り、にぎわいづくりにつなげます。

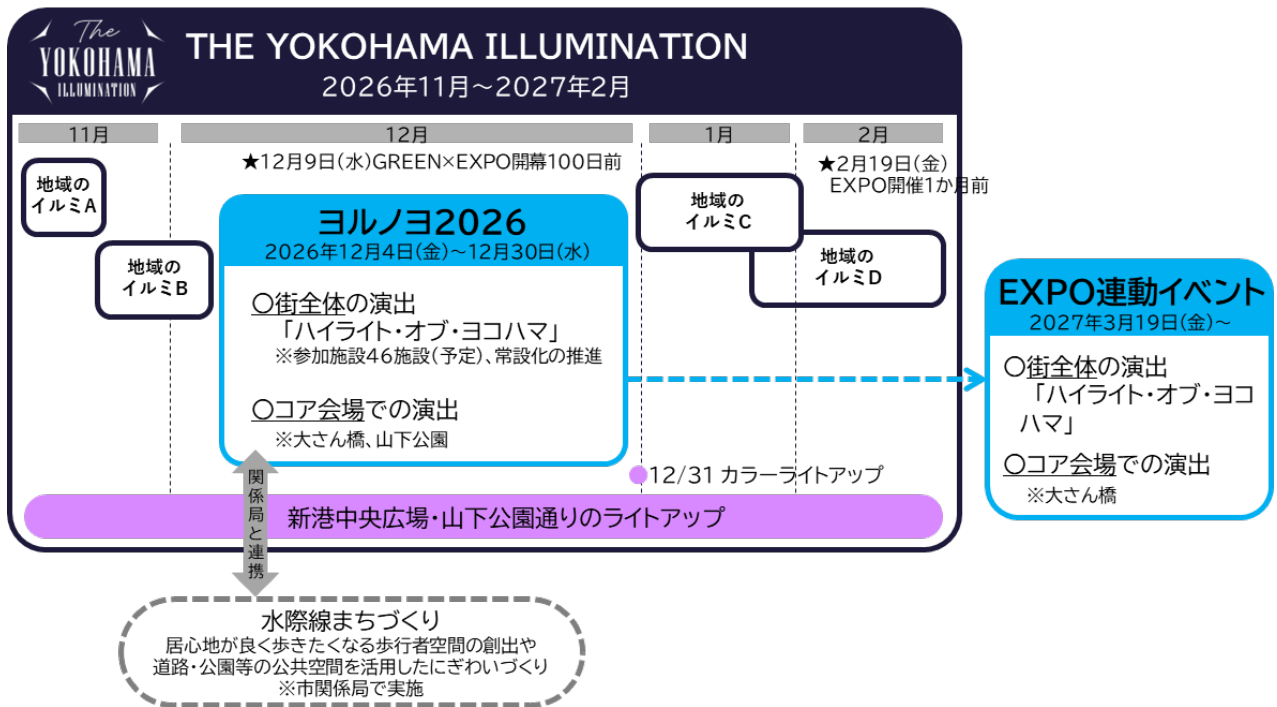
また、令和9年3月19日（木）からGREEN×EXPO 2027（以下、「EXPO」という。）が開催されます。EXPO開催期間に合わせて、本イベントを実施することにより、EXPOへの来場者等を都心臨海部へ誘客し、都心臨海部のにぎわい創出を図ります。

### 2 実施概要

冬の夜のにぎわい促進のため、11月から2月にかけて都心臨海部で行われる地域のイルミネーションをつなぐキャンペーン「THE YOKOHAMA ILLUMINATION」を実施します。

また、令和8年12月4日～30日には、「ヨルノヨ2026」を開催します。

さらに、令和9年3月19日からは、GREEN×EXPO 2027と連動した都心臨海部のにぎわい創出イベント（以下、「EXPO連動イベント」という。）を実施します。



### ■ THE YOKOHAMA ILLUMINATION

期 間：令和8年11月～令和9年2月

開催場所：横浜都心臨海部

(横浜～桜木町・みなとみらい～野毛・伊勢佐木町～関内・石川町～山下・中華街・元町周辺まで)

## 【実施内容】

- ・ 都心臨海部各地域のイルミネーションイベントと連携し、一体的な広報プロモーションを行う等、まちぐるみで来場者の回遊促進・滞在時間延長につなげるための取組を実施
- ・ 地域を光でつなぐ取組を2か所で実施（新港中央広場、山下公園通り）
- ・ 12月31日は横浜港の夜を彩る5分間の花火「YOKOHAMA NIGHT FLOWERS × GREEN×EXPO 2027」に合わせてカラーライトアップを実施

## ■ ヨルノヨ 2026

期 間：令和8年12月4日（金）～12月30日（水）（27日間）17時～21時

開催場所：横浜都心臨海部

コア会場：横浜港大さん橋国際客船ターミナル（以下、「大さん橋」という。）、山下公園

ターゲット：首都圏の若年層（20代～30代）

KPI（評価指標）：コア会場への来場者数 60万人

## 【イベント実施方針】

- ・ 横浜らしさのある先進性・話題性のある取組
- ・ 子供も大人も楽しめる体験型・参加型の取組
- ・ 脱炭素や資源の再利用など持続可能性に配慮

## 【イベント実施内容】

### ○ 街全体の演出「ハイライト・オブ・ヨコハマ」

港の水際線や歴史的建造物、ランドマークとなる施設など、都市景観を生かし、街全体が光と音楽で連動するスペクタクルショー。開港以来築き上げてきた都市景観を磨きあげ、横浜ならではの夜間の観光コンテンツとすることを目的に実施

[演出パターンと時間] 1時間のうち9回の演出（17時開始、最終回21時）

[メインビューポイント] 大さん橋（屋上広場）

[その他のビューポイント] 汽船道、山下公園など

[演出参加施設] 横浜ランドマークタワー、大観覧車コスモクロック21など、計46施設（予定）

なお、施設に対して、仮設に係るコスト削減や日常的な演出を可能とするため、持続可能な手法としてフルカラー照明の常設化を推進します。

### ○ コア会場での演出（大さん橋、山下公園）

「ハイライト・オブ・ヨコハマ」のビューポイントであることの認知度向上や街の回遊促進を目的に、大さん橋と山下公園をコア会場として、光と音楽による空間を演出

## ■ EXPO 連動イベント

(市の R8 年度予算については審議中、R9 年度は現段階での想定)

期 間：令和 9 年 3 月 19 日（金）～ 9 月 26 日（日）（192 日間）

開 催 場 所：横浜都心臨海部

### 【イベント実施方針】

- ・横浜らしさのある先進性・話題性のある取組
- ・子供も大人も楽しめる体験型・参加型の取組
- ・脱炭素や資源の再利用など持続可能性に配慮
- ・EXPO のテーマや理念を踏まえた取組

### 【イベント実施内容】

- 街全体の演出「ハイライト・オブ・ヨコハマ」
- コア会場での演出（大さん橋）